

# ゆめみたす 支援理念

「子どもファースト／子どもの利益を最優先に、一人ひとりが健やかに自分らしく過ごせる場所を提供します」



## 支援方針

### 1) 肯定的な表現、態度で接します

してはいけないことを言うよりも、具体的に「何をすればいいのか」を代わりに伝えます。

子どもの興味のあること・好きなもの・喜ぶことから、「やってみたい！」とチャレンジする意欲を引き出します。

### 2) 「できる!」「できた!」の積み重ねを大切にします

子どもの能力・可能性を信じ、プログラム等を通して子どもの成長を促します。

自己肯定感を育み、新しいものへチャレンジしたり、興味の幅を広げていけるよう支援します。

作成年月日： 2024年 8月 1日

営業時間： 平日 11:30~18:00

土日祝・長期休暇 10:00~16:30

送迎実施の有無： あり



## 健康状態

### <健康・生活>

- ・体温調節や水分補給に気を配り、子どもが安心して過ごせるように環境を整えます。
- ・身辺自立、身の回りの整理整頓など、日常生活に必要な基本的なスキルや行動を自分でできるように支援します。

## 活動

### <言語・コミュニケーション>

「コミュニケーションをとることは楽しい!」という経験をたくさん積んでもらいます。子どもの気持ちを共有し、時には支援者が代弁します。人とのやり取りを楽しんだり、自分の気持ちを安心して表せるように支援します。

### <認知・行動> 見通しの立つ環境を作ります

スケジュールの伝え方に配慮し、特に活動の「終わり」は明確にします。言葉で説明するだけでなく、視覚支援(色分けや場所の区切りなど)を取り入れ、直感的にわかりやすい工夫をします。

<人間関係・社会性> 社会生活を楽しく過ごすためのスキルとして、「わたし」と「あなた」の違いや、みんなが楽しい関わり方・距離感を身につけてもらいます。様々な人との交流を通して自分の役割に気づくことで、社会性の発達やより良い人間関係を支援します。

## 心身機能・構造

### <運動・感覚> 本人の特性に配慮します

身体感覚(視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚など)の個別性、興味関心の偏りに配慮し、本人にとって不快なことを無理強いしません。

### ●一日15分から30分程度のプログラムがあります。

【運動・感覚：指先トレーニング・ビジョントレーニング】 【人間関係：ルールの理解が必要な遊びや集団活動】 など、日によってさまざまなプログラムを通して、楽しみながら成功体験を積んでいきます。個別の課題についても、プログラムを遊びの中に取り入れ、ポジティブに長期的な目線で取り組んでいます。 土日祝や長期休暇中にはクッキングや課外活動などのプログラムも用意しています。

## 個人因子

### <体験・経験>

集団活動や野外活動など様々な刺激に触れる機会を提供します。人や環境に対する安心感、自分に対する信頼感を育み、子ども自らが周囲に積極的に関わっていけるよう支援します。子どもとともに活動を企画したり、過ごし方のルールをつくらしたりするなど、子どもの意見を取り入れ、子どもが主体的に参画することで自分自身が権利の主体であることを実感できるよう支援します。

## 環境因子

### <家族支援>

家族の方のお悩みやご相談を聞かせていただき、お子さんの成長と一緒に感じていきたいと考えます。時間外利用などレスパイトケアの役割も担っています。

### <移行支援>

どのような支援がどういった場所で受けられるのか、それがどれだけ必要かを、一人ひとりの状況に合わせて検討していきます。

### <地域支援・連携>

地域で暮らす子どもと繋がりを持てるイベントに参加し、地域からも理解とサポートを受け入れられるように働きかけます。

### <職員の質の向上>

外部研修や他事業所との交流に参加し知見を広め、自己研鑽に努めます。個々の子どもの違いを認め、一人の対等な人間として接します。

